

防災対策推進検討会議 中間報告 素案 (骨子)

注) 未定稿につき、今後修正・変更があり得る。

前 文

- ・東日本大震災の発生と防災対策の見直しの必要性
- ・防災対策推進検討会議の位置づけ、背景、検討経緯

第1章 日本の持続的な発展に不可欠な防災対策

1. 災害を受けやすい日本

- ・地震、火山、洪水等に係る我が国の災害特性（世界との比較、過去の災害等の概要）

2. 発生が危惧される大規模災害

- ・想定される南海トラフの巨大地震、首都直下地震、火山災害、大規模水害 等の概要
とこれらの災害に向け、留意すべき事項

3. 持続的な発展に向けて

第2章 東日本大震災から学ぶもの

1. 東日本大震災への政府の対応

- ・発災直後において政府がとった体制
- ・災害応急対策の概要 等

2. 災害直後の対応はうまく機能したのか

- ・警報の発表・伝達
- ・避難のあり方
- ・情報発信・情報把握
- ・人命救助・医療
- ・被災地方公共団体支援

- ・災害対応体制
- ・物資・輸送
- ・避難所の設置・運営
- ・災害時要援護者への配慮、男女共同参画の観点
- ・広域避難
- ・応急仮設住宅 等の観点から教訓を整理。

3. 復旧復興はスムーズに進んでいるのか

- ・被災者支援
- ・絆・コミュニティの重視
- ・医療・健康確保・心のケア
- ・復興の枠組み
- ・対応体制
- ・災害廃棄物処理 等の観点から教訓を整理

4. 事前の備えは役に立ったのか

- ・被害想定
- ・理念・考え方
- ・教訓の活用・伝承
- ・教育、訓練
- ・民間等各主体との連携
- ・備蓄
等の観点から教訓を整理

第3章 「ゆるぎない日本」の再構築を目指して

1. 災害から生命を守るために

- ・迅速な情報収集と確実な情報伝達
- ・迷わない避難行動及び安全な避難支援者の行動
- ・生命を守る救命・救助・救急医療の充実
- ・支援物資の円滑で確実な確保・輸送 等の観点から今後取り組むべき事項を整理

2. 被災地を支える体制づくり

- ・被災市町村を支える素早く十分な行政支援
- ・国と地方公共団体の役割分担

- ・広域連合等による協力 等の観点から今後取り組むべき事項を整理

3. ニーズに応じた避難所運営

- ・避難所の環境改善 等の観点から今後取り組むべき事項を整理

4. スピード感、安心感がある被災者支援

- ・救難・救助から自立まで一貫した被災者支援体系
 - ・コミュニティの維持・再生への配慮
 - ・医療・健康・福祉
 - ・広域避難
 - ・災害時要援護者への配慮と男女共同参画の視点の重視
- 等の観点から今後取り組むべき事項を整理

5. 復旧・復興をスムーズに成し遂げるための仕組み

- ・復興施策の恒久化
- ・スムーズな復旧のための体制
- ・災害廃棄物対策 等の観点から今後取り組むべき事項を整理

6. 大災害を生き抜くための日頃からの備え

- ・最大クラスの地震・津波の想定
 - ・被害を完全に防げない大災害に備えた「減災」の考え方と「自助」、「共助」による地域防災力の強化
 - ・教訓の承継・防災教育・訓練
 - ・民間等多様な主体が社会の総力を挙げて立ち向かう防災
- 等の観点から今後取り組むべき事項を整理

7. 発生が危惧される大規模災害に向けた備え

- ・南海トラフの巨大地震、首都直下地震、火山災害、大規模水害、複合災害への対応
- 等の観点から今後取り組むべき事項を整理

8. 国境を越えた教訓の共有

- ・防災力向上に向けた国際貢献 等の観点から今後取り組むべき事項を整理

9. その他